

令和4年度 第1回愛西市総合教育会議 会議録（概要）

会議名称	令和4年度 第1回愛西市総合教育会議	
開催日時	令和4年4月25日（月）午前9時55分から午前11時25分まで	
開催場所	愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1・2	
議長名	日永貴章	
出席者	別紙のとおり	
欠席者	0人	
公開・非公開	一部非公開	
傍聴人の数	0人	
議題	(1) 老朽化対策検討委員会からの提言について (2) 適正規模適正配置等検証委員会からの提言について (3) 中学生体験学習事業について (4) 愛西市教育大綱について (5) いじめ・不登校の現状について（非公開） (6) その他	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料	資料番号1 老朽化対策に関する提言書（概要） 資料番号2 検証委員会の提言書 資料番号3 中学生体験学習事業について 資料番号4 第2次愛西市教育大綱 資料番号5 不登校児童生徒の状況及びいじめの現状について	
会議録の確定		
確定年月日	署名者	
令和4年7月7日	愛西市市長 日永 貴章	
	愛西市教育委員会 平野 英治	

1. 愛西市総合教育会議設置要綱第3条に基づく出席者

役 職	氏 名	備 考
愛 西 市 長	日 永 貴 章	
愛 西 市 教 育 長	平 尾 理	
愛西市教育委員会委員	平 野 英 治	職務代理者
”	杉 方 南 衣	
”	水 谷 朋 和	
”	大 竹 節 雄	
”	難 波 知 里	

2. 出席した職員

役 職	氏 名	備 考
愛 西 市 副 市 長	鈴 木 睦	
愛西市企画政策部長	西 川 稔	
愛西市教育委員会教育部長	三 輪 進一郎	
愛西市企画政策部参事	伊 藤 孝 一	
愛西市教育委員会教育部次長	小 島 洋 志	
愛西市企画政策部経営企画課長	井戸田 悦 孝	
愛西市教育委員会教育部学校教育課長	猪 飼 政 和	
愛西市教育委員会教育部生涯学習課長	石 田 泰 弘	
愛西市教育委員会教育部スポーツ課	伊 藤 義 幸	
愛西市教育委員会教育部学校教育課主幹	吉 田 光 男	
愛西市企画政策部経営企画課	渡 邊 典 夫	
”	東 山 祐 佳	
”	山 口 遼	
愛西市教育委員会教育部学校教育課	坪 井 靖 史	
”	重 村 みいみ	

会議経過

発言者	内 容
事務局	<p>只今から「令和4年度第1回愛西市総合教育会議」を始めさせていただきます。</p> <p>・・・開会・・・</p>
市長	<p>・・・あいさつ・・・</p>
事務局	<p>・・・資料確認・・・</p>
市長	<p>(1)「老朽化対策検討委員会からの提言について」と(2)「適正規模適正配置等検証委員会からの提言について」を一括とさせていただき、担当より説明をお願いしたい。</p>
担当	<p>・・・「老朽化対策検討委員会からの提言について」状況説明・・・</p>
委員	<p>各小学校の施設が、10年後には約70%が築50年以上になることに對し、大変驚くと同時に、耐久性は大丈夫なのか気になる。各学校の老朽化の度合いを判断する評価値が数値化され、大変わかりやすいと感じた。また、適正化について、5年経って環境が変わり、少子化による生徒数の更なる減少によって小規模化が進んでいくことが明らかである。学校の老朽化も踏まえて適正化に、迅速に取り組む必要があると考えている。新たな基本方針に基づいて作られる基本計画については、地域住民の理解・協力を得てスピード感を持って取り組んでいただきたいが、具体的な今後の計画等があれば教えていただきたい。</p>
担当	<p>今後の計画等について、できるだけ速やかに検討協議会を立ち上げていきたい。その中では、提言、方針の改定を受けて、今後の学校のあり方について、基本計画の策定をしていきたい。また老朽化等、施設も考慮しながら関係部局とも情報共有をし、基本計画の策定に向けて進めていきたい。可能であれば、今年度中にでも基本計画をある程度形にしたいと思っている。</p>
委員	<p>老朽化対策検討委員会からの提言の一番の課題は、財政上の対応になるかと思う。今回の提言は教育委員会に向けたものだが、市の将来計画に係る部局全体で受け止めていただきたいと思う。次に適正規模等は、新たに設置される検討協議会が非常に重要になると思う。</p> <p>適正規模には賛成だが具体的なところで理解、協力が得られなかったように感じた。提言でも、協議会を進める中で、「常に検討状況を市民へ情報提供し、市民との合意形成を図るプロセスを実施する」としている。</p> <p>中学校を優先するということだが、合併以前の町村を越えての学校統合になる可能性が高いと思う。そうなった場合に将来に向けて学校配置の適正化をど</p>

	<p>う図るかや、通学区域の見直し・変更等も検討が必要になると思う。</p> <p>学校施設の老朽化の状況、改善のための財政上の課題を考慮すると、学校統合との実施時期を一斉に行うことは難しいと思うので段階を追った対応を検討していく必要があると思う。</p> <p>新たな協議会の事務局には、財政担当を始めとする関係部局にも加わっていただいで検討を進めていかないと新たな方向に進むことは難しいのではないかと思う。</p>
担当	<p>学校施設の老朽化は、愛西市に限らず、どの自治体もかなり進んでいる。どういった順序で手を付けるかは、補助金等の活用についても、研究しながら進めていきたい。適正化については、市民の方々が誤った捉え方をしないように情報の提供は必要かと考えている。老朽化の段階的な件についても計画的に進めていく必要があると思っている。児童・生徒の安心安全な学習環境の確保のためには避けては通れないが、一斉に着手するのはなかなか難しいことも把握している。</p>
市長	<p>財政対応について、国や県の優位な財源確保に努めていくが、財源確保するためにはタイムラグが生じる。スタートがいつの段階で切れるのかによって財源確保のタイミングも変わってくると思っている。関係部局についてはどの時点でどの部局を同席させるのかは、今後、協議会がどのようなスケジュールでどのようなプロセスで進んでいくのかということを確認しながら、市長部局としては協力させていただくことになる。</p>
委員	<p>すべての学校に焦点を当てて進めていくのは膨大な作業になると思う。提言では、優先度の高い学校からまだ余裕があるという程度が数字によって示されており、この考え方が基本方針、基本計画作りににおいても必要であると思う。老朽化が見え、少子化の方向が急激に進んでいることが見えてきた。子どもたちの取り巻く環境について、適正な情報と適正な判断を市民の皆様にしていただけるような情報の提供を繰り返し行っていくことは肝心なことである。</p>
担当	<p>今後の児童・生徒数の関係については、今年度、小中学校のPTA総会が開催される日に、未就学児の今後の推計の資料を、保護者の方へ紹介する場を作らせていただいた。今後も繰り返し、状況を市民の方にお知らせしていくことが必要と考えている。</p>
委員	<p>地域の人々に説明していく対象者として、子育てを卒業されて地域のことを考えている方々、保護者として子育てをしている世代、これから就学していく世代がある。どこに1番の焦点を置いてこれからのことを考えていけばいいのか。自分もここ数年悩んで答えがなかなか出ていない。</p>
市長	<p>住民との合意形成は、どの段階で合意形成とみなすのかによって時間軸が変</p>

<p>教育長</p>	<p>化する。津島高等学校や他の公立高等学校で、中高一貫校という発表が出ており、非常に悩ましい。教育委員の中でも様々なアイデア等を出していただき、ご協力いただきたい。</p> <p>地域の意向という話が出ているが、私たちが求められるラインがあると思う。情報公開、説明会だけではなく、様々な場をセッティングしていかなければならないと思っている。地域の方々と話をする時に、学校は子育てを通して交流する絆づくりの場であるという認識を持って進めていかなければならないと思っている。</p> <p>中高一貫教育が増えていく方向にある。高校ではなく中学生の子が行くということについて、当然、通学範囲も決まってくる。そうなると愛西市は非常に大きな影響があるのではないかと考えながら進めていかなければならないと思う。</p> <p>また、適正規模化については進めば進むほど教育委員会では限界があるので、市長部局と連携しながら色々ご支援をいただかなければいけないと思っている。</p>
<p>市長</p>	<p>しっかり協力して進めていきたいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>施設の老朽化について、学校側も大変な状況で、その場その場を凌ぎながらの状況であると思う。50年に一度、100年に一度の規模のような災害が起こるのが珍しくなくなってきているので、スピード感を持ってできるだけ早く進めていただきたい。教育委員会部局、市長部局、双方で協力しながら、これから先、進めていただくことを切にお願いしたい。</p>
<p>担当</p>	<p>安心・安全な部分、各学校が苦勞しながら凌いでいる状況は否めないが、すべてを改善しきるのは難しいため、優先度を考慮しながらできる範囲で子どもたちの安心・安全を確保していきたいと思っている。</p>
<p>市長</p>	<p>(1)と(2)の件については、今後、検討協議会を設置し、基本計画を策定に向けて進めていくということである。市長部局の対応としては、どのように検討協議会が進められるのかお示しいただきたいと思う。</p>
<p>副市長</p>	<p>できるだけ早くやっていただきたい。検討委員会では何を決めるのか、予算、地元との合意形成、それを経て計画を作った段階で国・県との調整など、かなり時間がかかると思うので、同時並行ができればやっていただきたい。地元の合意形成が一番大事であるということを理解している。コミュニティのことも記載がされているが、愛西市は概ねコミュニティの活動拠点が完成されている。それを踏まえ、地域の方々に説明していただきたい。</p>
<p>担当</p>	<p>検討協議会の組織については、内容をしっかりと焦点を絞り、短期間で内容</p>

	<p>がまとめられるように進めていきたい。検証委員会についても、かなりタイトなスケジュールではあったが、たくさんの資料を準備することで検証結果を出すことができたため、次の基本計画の策定についても、できる限り短期間でまとめていきたいと思っている。また、コミュニティの関係については地域との関係性もあるので、市民協働課などコミュニティ担当とも調整を図っていききたいと思っている。</p>
市長	<p>国からの採択を受けるのが非常に厳しい状況で、どれほどの補助金が確保できるのかは今後非常に大きなハードルになってくると思う。しっかりと情報収集をお願いしたいと思う。(3)「中学生体験学習事業について」を議題とし、事務局より説明をお願いしたい。</p>
担当	<p>・・・「中学生体験学習事業について」状況説明・・・</p>
委員	<p>コロナ禍が長期化しており、子どもたちを取り巻く環境が変わっている。行事の中止やイベントの参加の仕方の変化によって、子どもたちはどんな大人になってしまうのかというところに保護者は不安を感じている。お祭りに参加することで育つ心の成長などが全く失われている今の子どもたちが、心動かされるような事業を検討していただくことを切に望む。</p>
担当	<p>コロナ禍において、各学校で学校行事等の見直しが進んでいる。昨年、一昨年ですと修学旅行も日帰り、場所や日程も吟味して選んで出かけている状況であった。この事業を進め、子どもたちにとって良い事業という形になるよう進めていきたいと思っている。</p>
委員	<p>現在のコロナ禍において体験学習は普段学ぶことのできない学習であると思っている。それを行うために児童の安心・安全を第一に考えていただきたい。また、費用負担はできる範囲で保護者の負担が少ないように調整等ができればお願いしたい。</p>
担当	<p>子どもたちを安心・安全な状態で事業に取り組むということは確実に担保していきたいと思っている。保護者負担については、コロナ禍で経済的な事情が色々ある中で、市としては給食の無償化や保護者の経済的支援も、市長部局、財政部局のご協力のもと進めることができている。この事業に関してもできる限り協議等でお願いができればと思っている。</p>
委員	<p>コロナ禍が想像以上に長い故に、将来の子どもたちにワクワクする楽しみを見出していただけ、災害に関する学習もできるということで、両方の柱からこのまま進めていただきたい。現在、小学校の高学年の子どもたちが下の学年の子どもたちのお世話をするという重要な役割が全て割愛されている状況である。高学年になると、自分が高学年になったという意識を持って過ごせるが、</p>

	<p>関連事業がコロナ禍で全て割愛されてしまい、子どもたちが成長する段階の体験がどの学年も薄れている。この事業は中学生から始めることではあるが、この先、対象を広げていていただきたいと思っている。</p>
担当	<p>コロナ禍で子どもたちが学校生活で思い出を作りにくい状況であるので、この事業で思い出に残るような有意義な体験をしていただきたい。異年齢間の交流がコロナ禍で減ってきているので、各学校でも工夫し、コロナ禍の中でもできるような色々な体験を研究していただければと思っている。</p>
委員	<p>中学校の体験学習事業は防災・減災を中心に検討が進められていると聞いているが、この後に協議される愛西市教育大綱に位置付けられ、愛西市の特色になる事業になっていけると思っている。生きる力、生き抜く力を育む事業として定着できたらという願いを持っている。</p>
教育長	<p>体験学習が注目されるのは、実生活に役立つ実学が軽視されているからだと思う。実際の生活に役立つことを体験させることは必要であると思っている。教育については直ちに評価できない部分があり、50年後、100年後に評価が出てくると思っている。愛西市の特色あるものに位置付けていくとともに、SDGsの精神に則って進めていくものであると思うので、そういう思いで教育委員会は動いていきたい。</p>
副市長	<p>中学生体験学習事業は、愛西市教育大綱と大きく関わり合ってくると思っている。愛西市の特色を発揮し、教育大綱等々に盛り込んで先を見越した事業に取り組んでいただきたい。体験学習は生涯自分の心に残ることであると理解しており、必ず良い方向に進むと思っている。</p>
市長	<p>中学生体験学習事業は引き続きしっかりと検討して進めていただきたい。 次に(4)「愛西市教育大綱について」を議題とし、事務局より説明をお願いしたい。</p>
担当	<p>・・・「愛西市教育大綱について」状況説明・・・</p>
委員	<p>愛西市教育大綱の1番の特徴は「しなやかな」という抽象的な言葉を理念に掲げたことである。しなやかな人を育むための方策として、中学生体験学習の体験そのものであると思っている。体験といっても体験学習のように与えられた体験もあるが、そこから成長して自分で考えて自分で行って見て、その体験の成功や失敗を積み重ねることが「しなやかな」人づくりであると認識している。</p> <p>特色ある愛西市の教育大綱が現実に子どもたちに作用していくこと、子どもたちが育ってくることを切に希望している。</p>

副市長	<p>コロナにより世の中が大きく変わり、3年先、5年先についても想像できないような状況になるかと思う。そのことを見越して教育大綱を見直していただきたい。基本理念と目的があり、方針が5つ束ねられているので、ハード・ソフトの両面からも具体的な実行計画を挙げていただくと分かりやすいと思う。</p>
市長	<p>(5)「いじめ・不登校の現状について」を議題とさせていただく。この件については、非公開ということであるが、本日傍聴者はいないので、このまま続けさせていただく。それでは事務局より説明をお願いしたい。</p> <p>・・・「いじめ・不登校の現状について」状況説明及び意見交換・・・</p>
市長	<p>(6)「その他」</p>
担当	<p>・・・昨年度の総合教育会議において議題とした学校部活動の段階的な地域クラブへの移行について報告・・・</p>
市長	<p>只今、地域クラブについて説明があった。今後も皆様方、ご協力をいただきたいと思う。最後、3. その他に移りたいと思う。</p>
副市長	<p>現在、食料品等の値上げ等の報道がなされているが、栄養価が足りているのか調べていただき、栄養教諭を含めて給食費について値上げするのかどうか議論していただきたい。</p>
担当	<p>給食センターで給食食材の選定を行う物資選定委員会がある。食材の単価が上がってきており、献立委員会で予め決めた食材の納入が難しいと納入業者が仰っていることが確認されている。単価等を確認しながら、今後データを集めていきたい。</p>
市長	<p>以上で議題については全て終了させていただく。</p>
事務局	<p>・・・閉会・・・</p>